

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2297200293		
法人名	株式会社 アイア		
事業所名	グループホーム あいの街浜北		
所在地	静岡県浜松市浜北区於呂2406-1		
自己評価作成日	平成24年10月3日	評価結果市町村受理日	平成24年10月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 http://hp?action_kouhyou_detail_2010_022_kani=true&JigyosyoCd=2297200293

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社システムデザイン研究所		
所在地	静岡市葵区紺屋町5-8 マルシメビル6階		
訪問調査日	平成24年10月17日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一日の暮らしの中で、共に語らい、笑い、感動し合う、そして寄り添う。「私は、私である、そして、一人ではない」生活の場を提供致します

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

北遠の山裾、新東名近くに、小規模多機能型居宅支援施設とデイサービスを併設するかたちで事業所があります。開設2年がたち、職員の異動も少なく安定していて、ゆっくり寄り添い傾聴することで介護度が改善した利用者もいます。畑好きな利用者も多く、敷地内の菜園から、那須、キュウリ、蜜柑など多種の収穫を楽しみ、食卓に季節の彩りを添えています。利用者が自発的に掃除をするようになるまで凝らした工夫は日常の習慣に至り、利用者同士の連携に発展しました。これは職員の意見が反映されたもので、管理者の広い心に抱かれた、風通しの良い職場環境が覗える一例です。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔のある暮らし」穏やかな笑顔へ努力しております。	「笑顔のある暮らし」はスタッフ皆で作ったと思いが強く、利用者の内面にある声なき声を聞こうとする姿勢が職員にあり、理念の浸透が感じられます。訪れる往診の医師からも「ここは安定しているね」と言われるほどで、職員の笑顔や傾聴姿勢が利用者の安定に繋がっています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	開設一周年祭を4月に開催し、バザーの収益金は、自治会へ、寄付させて頂きました。近くのスーパーへは、恒例となった、自前のカートを引きお買い物へ、出かけています。	回覧板で地域に周知してもらったバザーは好評を博し、収益金が1万円を上回り自治会への寄附が叶いました。バザーでは利用者の作った手作り品販売のほか、フランクフルト・豚汁の振舞いや、中学生の吹奏楽、遠州一座の大道芸があり大盛り上がりを見せてくれました。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	中学生の福祉ボランティア、介護専門学校生のボランティア等の受け入れを実践しております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度開催しております。ご近所様からの、苦言への対応も、提案をさせて頂いたうえで、自治会長様並びに民生委員様、市の職員の方からの助言を頂き対応させて頂いております。	運営推進会議は2ヶ月に1度、市の職員、包括のほか老人会の皆さん等、多彩な顔ぶれの参加で開催されています。利用者が窓から放った紙で隣家に迷惑をかけたこともありましたが、推進会議に参加してもらい、話し合いの中で解決の方策に繋がった例もあります。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議への参加依頼 月に一度浜松介護相談員の訪問をお願いしています。	運営推進会議には担当者の参加が毎回あり、また、事業所も書面を直接届けていて、協力関係構築に余念がありません。疑問な点には、丁寧に応えてもらっています。包括が主催したグループホーム交換会では貴重な情報の交換が得られています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	不穏者への対応は、都度カンファレンスにて話し合い、ミーティングにて、決定している。施錠等の身体拘束は、行っていない。	「身体拘束ゼロ宣言」をしていて、日中の玄関施錠は原則していません。フロア担当を置く人員の余裕もできたため、徘徊行動に職員が付き添い安定につながっています。本部研修にリーダーが参加し全体ミーティングにおける内部研修で共有を図っています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入浴時での全身観察、表情、の観察を重視している。又心に寄り添い穏やかな対応への心がけを周知している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	出来る事への挑戦とし、身の回りの事は出来る限りご自分で行って頂くように援助しています。後見制度に関しては学ぶ場の確保に努力しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、必ず、ご本人とご家族との話し合いの末入所の契約を頂いております。又利用料の変更があった場合は、分かりやすくご説明するよう努力しております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「こんな事がしたいな」等率直な意見を頂いております。又ご家族においては、面談、家族会にて、意見の交換を行っています。	運営推進会議には持ち回り参加で意見がもらえています。1回目の家族会を予定していて、東京など遠方を含む殆どの家族が参加の意向で、家族意見が運営に反映できるものと期待しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎週水曜日にフロアカンファレンスを行い月一回のミーティングにて最終決定をおこなっている。	職員定着度も高く、入浴方法や転倒防止などについて建設的な意見が聞けていて、話し合いの中で共有に繋げています。明るい雰囲気の中で、管理者の下、職員は時には愚痴も言えていて、風通しの良い職場環境が整っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	意見の言える環境作りを心掛け、業務へ反映できる話し合いの場を提供しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修への参加、個々に応じた介護意欲の向上聞ける環境作りを心掛けております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	傘下内で行われている、セクション会議、連絡協議会への参加を行い意見交換を行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	生活歴・現在の身体状況を把握し、ご家族にもご協力とご理解を頂きながら、職員の意識を統一し安心して生活できる場を提供させて頂いています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所までの経過、問題点を共に考え、ご家族の思いも尊重しながら、信頼関係の構築に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人を取り巻く状況、問題点をご本人、ご家族と整理しながら、納得の上で、今必要なサービスの導入、必要な情報の提供をさせて頂いています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の想いを尊重し、ご本人のできない事をお手伝いさせて頂きながら、常に寄り添う職員がいる事を認識していただけるよう努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御利用者様からの訴え要望など随時ご家族に連絡させて頂き、面会のお誘いや気軽に面会に来ていただけるような環境を整えるよう心掛けております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族との外出、外泊のお勧めをしています。また、ご家族にご了承の元、ご近所の方、ご友人との面会の場を提供しています。	家族の面会は遠方からも含め頻回にあります。散歩では近所の友人との会話もあったり、また旧友の訪問もあり利用者の心の安定に繋がっています。訪問理美容もありパーマや毛染めでおしゃれを楽しんだりしています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	御利用者様同士での気が合う、合わないがありますので、御利用者様同士の言動に気を配り、穏やかに過ごせるよう努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご本人、ご家族の不安時のフォロー、必要時関係機関との情報交換等行っております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	今の想い、これからの生活への意向や希望を引き出すように努めております。ご本人の意思表示が困難な場合は生活歴、ご家族からのお話しなどを元にご本人の反応を確認しながら、御本人らしさを引き出せるよう努めております。	生活歴を把握し傾聴に努めているため、農作業の話から、昔蚕を飼っていたことなどの思い出に繋がり、職員との絆が深まった例もあります。掃除道具のみを準備して、利用者の自主性にまかせ、掃除が自主的な習慣に至ったなど工夫のある取り組みがみられます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始時のアセスメント、入所後の御利用者様からのお話などを記録に残し職員間で共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	御利用者様の日々の行動、会話を観察し現状把握に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御利用者様個々に担当職員をつくり、状況把握に努め、カンファレンスを行い看護、介護、生活全般についての話し合いの場を設け必要時、介護計画の変更をしております。	モニタリングは担当職員を中心に行い、ケアマネージャーと計画作成担当者がプランを作成しています。プランは日々の話し合いの中で、都度変更し、現状に即したものになるようにしています。適切なケアプランの功奏が介護度3→1に、入院前比較で4→1に改善した利用者もいます。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護、看護記録に日々の記録を記入し、口頭での申し送り、申し送りノートで情報を共有し実践しながら、必要時介護計画の変更をしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人を含め、家庭内での問題に対し、迅速に柔軟に対応できるよう努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	御利用者様の利用可能な近隣の公共及び商業施設、設備の把握、利用の実践、地域ボランティアの受け入れ等、楽しみのある暮らしができるよう努めております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回の主治医の往診(入所前からのかかりつけ医含む)、専任の看護職員により、体調管理に努めています。 緊急時には主治医、ご家族と話し合い対応しております。	24時間対応で月に1回往診があり、対応も良いため、大半の利用者が事業所の協力医に変更しています。また歯科医訪問もあり、利便性も高く、家族の介助軽減と安心に繋がっています。看護師が医療情報をまとめ保管していて、薬の変化は申し送りノートで周知を図っています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	御利用者様の体調に変化が見られた時は、速やかに看護職員、責任者へ報告し適切な対応を取れるよう努めております。 介護職員の看護職員への報告を含め、随時医師への必要事項の報告をしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、入所～現在までの様子、内服薬、バイタル等サマリーを提供している。 入院中には面会に伺い病院関係者との情報交換を行っております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所契約時に、急変時、緊急時への対応をご家族と確認を取り合うようにしています。 又、主治医との連携を密にし急変時での対応をお願いしています。	緊急時には、かかりつけ医との医療連携が出来ていて、常にアドバイスや指示が受けられる関係ができています。看取りの実績はありませんが、医療行為が必要なければ看取りに取り組む考えを持っています。職員は本部作成の緊急時対応マニュアルを理解し、研鑽に励んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防訓練時AEDの使用方の指導を受け、急変時の対応、応急処置等の研修を行い知識と実践を心掛けております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を行うとともに、運営推進委員会で地域での避難方法を確認しております。	防災訓練は夜間想定で年2回行っています。また1回は消防署指導のもとで行い、利用者の安全確保に取り組んでいます。AEDが設置してあるため、近隣の人たちを呼んでの使用説明会を考えており、協力体制構築への期待が高まります。	運営推進会議には隣家の参加もあることから、テーマにおくことで、さらなる充実があることを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	御利用者様の言葉を傾聴し、生活を共にする年長者として尊重し、今の状態にあった対応を心掛けております。 プライバシーの保護を徹底し、必要時には必ずご本人の了解を得ています。	本年1月に接遇の研修を行いました。職員間では接し方に、絶えず省みる風潮ができ、利用者とのコミュニケーションがスムーズになってきています。寂しがるときにはハグのスキンシップなど職員は様々対応を工夫し、利用者の心の安寧を図っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	傾聴に心がけ、言葉にならない言葉を引き出せるよう心掛けております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体調への変化 精神面での把握に心がけ、対応させて頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理美容等の提供を2ヶ月に1度行い、男性らしさ 女性らしさ、への継続を心掛けております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	残存機能を活かし、野菜の下ごしらえ、卓上IHコンロを使用し、カレー作り等行って頂いています。後片付け等はご利用者様自ら行って頂いています。	テレビを消し、ハワイアン音楽が静かに流れる中、職員の丁寧なメニュー説明があり食事が始まります。干し芋や切干大根など、利用者の手作りの食材が並び、後片付もごく自然に利用者が行う姿に頼もしさが感じられます。月1度は外食もあり、利用者の楽しみとなっています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事以外に10時、15時には必ず水分補給を行い、ご要望のあった時他必要時に飲み物を提供しております。 食事の量、栄養バランスに配慮し、毎月体重測定を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨き、うがいの促し、介助、夜間は洗浄剤による義歯洗浄を行っております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	御利用者様の状態に合わせ、定期誘導・言葉かけ・見守りを行っております。排尿・排便時には排泄表に記入し排泄リズムの把握に努めております。	自立排泄者が多く、大半の利用者は日中布パンで過ごしていて、本人から便の状態を聞いて排泄チェック表に記録しています。職員意見から回転クッションを使つての排泄助長運動を試し、改善傾向にある利用者もいるなど工夫が施されています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	寒天を使用したオヤツを提供したり、毎日音楽に合わせてフロア内を歩いて頂き、又回転クッションを利用し腸内を動かす運動を試みたりしております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそつた支援をしている	週3回の入浴を実施させて頂いております。曜日は、職員にて決定させて頂いておりますが、気が進まない時は、時間を置く、曜日の変更を行う等調整を図っております。	午前中、週3回の入浴ができていて、希望があれば毎日入ることもできます。マンツーマン介助で職員とゆっくり会話ができて、意向に反映されることもあります。ヒーター設備し、温度変化による危険性回避にも取り組んでいます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	プライバシーの保てる居室の提供、週1回のシーツ交換、お布団の調整を行い、自由に過ごしていただけるフロア環境作り心掛けております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服時は職員複数名によるダブルチェックを行っております。内服薬に変更が出た場合には全職員に変更理由、薬効、服薬の目的を説明しております。内服後、体調の変化等が出た場合には看護職員、医師への報告・相談を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一つの作品をいくつかのパーツに分け、個々で作品を作って頂き、すべて揃ったところで張り合わせ一つの作品を完成して頂くなどの工夫をし提供しています。又毎週レクの日を設け、外出、食事等気分転換を図っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	気分によりお一人で外へ出かけられる時は、必ず見守りを含めご一緒させて頂いている。又季節に沿つた外出、食事を計画しご家族への参加依頼をしております。	天気の良い日には、施設内の野菜畑や近所のスーパーなどに頻回に出掛けています。1日に2回買い物に行くこともあり、外出アクティビティーを楽しんでいます。敬老会や開設1周年祭りには家族の参加も多くあり、行事の主役を利用者が立派に務めていました。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理は、基本施設側にてさせて頂いております。職員との買い物の際には、会計の時お財布より、会計を行って頂くこともあります。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族との同意の上、お話しできる環境作りを行っております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアを中心に居室 トイレ 風呂場を配置し、段差のない構造になっています。天窗を利用し太陽光を取り入れ、建物全体天竜の材木を使用し居心地の良い空間作りを行っております。	利用者の手になる生花が季節感を放ち、写真の飾りつけなどからも職員の感性が彷彿しています。また、利用者が制作した紅葉の貼り絵は力作で、立体的な葉っぱが力強さと躍動感に満ちていました。空気清浄機も設置され、毎朝の掃除と換気で清潔に過ごしています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳部屋でクッションを使用しマッサージを行って頂いたり、ソファにて会話をされたり、個々の空間作り心掛けております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個室にて提供させて頂いております。お気に入りの物を飾ったり、お部屋でテレビを楽しまれたりと、工夫をされております。	天竜杉で張り巡らせた居室内の腰板から芳香が漂ってきます。畳のマットを敷き蒲団で休む利用者もいて、思い思いの生活空間作りが出来ています。窓からは開通した新東名や北遠の山々を眺めることができ、落ち着いた居室となっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共有スペースの表示を少なくし、なるべくお一人で施設内を把握して頂くよう援助させて頂いております。		